

1. 開成町の教育政策を問う

天気予報では猛暑、酷暑に続いて危険な暑さという言葉までが使われるほど、この夏の暑さは異常である。この暑さは学校教育現場に影響はないのだろうかと心配になる。開成町立文命中学校において、エアコンの空調設備はパソコン教室などの特別教室には設置されているものの、ホームルーム教室をはじめ普通教室にはまだ設置されていないと聞く。教室にエアコンを設置し、勉強するにふさわしい教室環境を整えるべきと考える。

一方、18歳を迎える若者を取り巻く環境も大きく変わろうとしている。2017年の6月からは、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳以上からになった。これに合わせるかのように、今年の通常国会において、この7月に、改正民法が可決通過し、2022年4月から成人年齢が満20歳から満18歳に引き下げられることになる。

2つの例をあげたが、地球規模での気象変動や急速に広がる国際化に備え、未来を託す子どもに生きる力を付ける教育施策を講じるために、今回は次の質問をする。

- ① 開成町立文命中学校にエアコン設置の考えは。
- ② 成人年齢が18歳になった初年度の成人式の構想は。
- ③ 開成町立小中学校へのタブレット導入の考えは。

2. 開成駅及び駅周辺の利便性向上を問う

2018年4月28日発表の「2018年度鉄道事業設備投資計画」によると、「小田急電鉄株式会社は、2018年度の設備投資計画の一環として、小田急線開成駅のホーム延伸工事を実施し、その目的について『今年度中に実施予定のダイヤ改正から、開成駅に10両編成の快速急行と急行を停車させる』ことを発表した。このニュースはすでに全戸配布チラシで町民に周知されていることである。開成駅を利用している人にとって大変ありがたいことであり、また、地元住民にとっても長年待ち望んでいた事なので喜ばしいことである。開成町にとってのイメージアップはさらに増すものと思われる。そこで、この時期をとらえ、開成町の玄関ともなる開成駅及びその周辺のさらなる利便性向上を追求し、意図的計画的なまちづくりを目指す必要がある。この様な観点で今回は次の質問をする。

- ① 最初の急行が停まる時に歓迎式典(セレモニー)の考えは。
- ② 小田急電鉄と新たに交渉する策は。
- ③ 郵便局誘致の進捗状況は。
- ④ 開成駅を通るバス路線の誘致計画は。